

幼児の身体表現の効果的指導方法に関する研究

ー保育・言葉掛けプランニングシート作成の観点からー

A Study on the Effective Teaching Methods for Physical Expressions of Infants

- In Terms of Drawing up the Planning Sheet for Verbal Instructions at Preschool -

○小松 恵理子 梶 ちか子*
Eriko Komatsu Chikako Kakoi

キーワード：幼児 身体表現 指導 プランニングシート

1. はじめに

幼児の身体表現の効果的指導方法について、これまで多様な方法を検討してきた。

全国保育者養成セミナーにおいても「身体表現」の指導に関して、鈴木等より以下のような課題の指摘が行われている。

「保育士養成に携わる私たちは、①養成校における学生 ②保育所、幼稚園などの子どもたち さらに③研修や研究会における保育者（保育現場）に身体表現の実践フィールドで出会い、そこでの課題や困難について、一定の範囲で知ることが可能な位置にいる。その事実を踏まえ、養成にかかわる教育では、通常（i）幼児・子どもたちの“身体表現”がどのようなものか、どのような内容を含んでいるかについての知識とイメージを学生が持つこと（＝子ども表現の理解 保育内容の理解）と、（ii）学生自身の身体表現についての意識や表現技能の水準を確かなものにすることを目的としている。そして両者を関係させつつ保育の内容を考えられる養成を目指しているといえよう。子どもと自身の

表現について知ること、身体表現の経験し心地よさや大切さを自覚することともに、子どもと表現する機会や場を設けること、実践的課題に学生が関心を持てる素地をつくることなど」（下線筆者）

と、子どもたちの実態をふまえ、身体表現の指導に携わるであろう学生自身の身体表現に関する理解を深め、表現技能を向上させること。また、両者を関連づけた保育内容のプラン作成ができることなど、身体表現の指導実践力の向上を課題としている。

同様な課題意識をもちながら、瀧・下釜等と九州地区の身体表現の指導実態調査を基盤とし、養成校における学生の指導力向上のために様々な手立てを検討してきた。

すなわち、形やリズムが視覚的に提供され、それに触発されて動きが引き出される様々な素材（新聞紙や段ボール等）を用いる方法や具体的な映像（視聴覚教材）を提示し、豊かな表現を導く方法、さらには、集団・言葉掛けといった要因の指導場面における有効性等について明

* 鹿屋体育大学(非)

らかにしてきた。

その過程において、身体表現指導の重要ファクターとして指導者自身の題材に対する『イメージの乏しさや』や『言葉掛け』が常に挙げられてきたといっても過言ではない。しかし、特にこの『言葉かけ』の有効性と困難さは常に様々な研究において指摘されるも、その詳細や指導者養成における原理・原則といった観点での研究や提案は少ないように思われる。身体表現は大切けれども指導が難しく、経験をつんだ指導者でないと表情豊かに的確な実践をすることは難しいといわれる。時間や経験を積まなければこの能力や技術は向上しないのか。養成校としては、この『豊かなイメージ』に裏打ちされた『言葉掛け』が効果的にできるようになるために、学生にどのような指導が必要なのか。

これらの問題意識を基盤に、現場指導者として効果的な指導の実践できる解決策として、事前に『題材』に対する保育者の『運動のイメージ』を明確にし、その上で多彩な運動表現を引き出すことが可能と思われる項目を設けた指導案書式（保育・言葉掛けプランニングシート）を作成した。そのことにより、指導者の豊かなイメージに裏打ちされた身体表現への『効果的な言葉掛け』ができ、幼児の豊かな動きの引き出しや発展のできる指導実践力を高めることが容易になると考えた。

【目的】

保育に携わるために事前に保育案を作成する。その保育案を保育場面のみならず、身体表現に効果をするよう書式に改善した。

『題材』に対する保育者の『運動のイメージ作り』を容易にするとと思われる手立て（題材の運動分析・ロリズム等）を、保育を企画する時の観点として考え、その観点の挿入された身体

表現に特化したプランニングシート（試案）を作成し、その有効性を検討することを目的とした。

【方法】

『身体表現/保育・言葉かけプランニングシート』と命名し、通常の保育案書式の項目＜時刻・環境＞に身体表現に特化した項目＜教材（絵本等）・音響・照明＞＜言葉かけプラン（主たる保育の流れ）＞＜指示・説明＞＜日常・非日常＞＜抑揚＞＜運動分析（事前）＞＜動きの探求（ロリズム・動きの変化（5要素使用）・ストップモーション＞＜発想の転換＞等を挿入したシートを作成した。

保育者養成校に在学する学生を対象に、事前に身体表現遊びの『保育・言葉掛けプランニングシート』を作成させ、3回模擬授業を行い各担当終了後、アンケート調査を行った。

対象：K 女子短期大学児童幼保コース2年生203名（有効回答者168名）・表現授業を1年次に半期受講している。

調査項目：質問①保育・言葉掛けプランニングシート（以下 PS）は担当保育の企画や実践をする上で役に立ったか5段階で評定。／質問②どの欄が役に立ったか（複数回答）／質問③他にどのような欄が必要か。質問④その他気付いた点についての自由記述について回答。

【結果と考察】

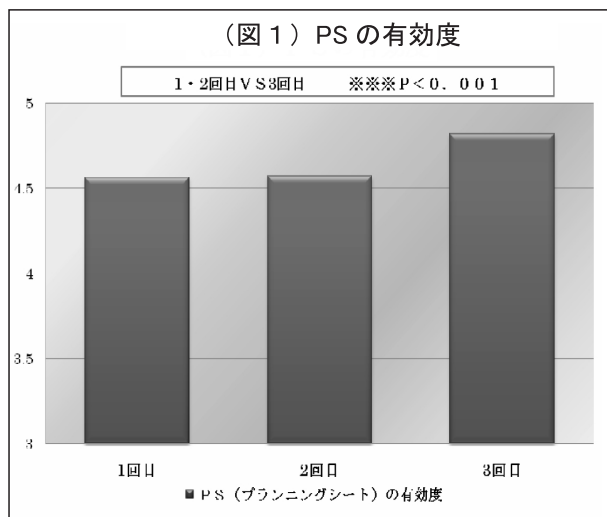
1) 図1に示すように、「質問①保育・言葉掛けプランニングシート（以下 PS）は担当保育の企画や実践をする上で役に立ったか」に対する3回の回答では、いずれも4.5を超す高い有効度を示した。1・2回目の間には有効度に有意な差はなく、1・2回目と3回目の間に0.1%水準で有意な差が生じている。このことは、

保育内容（表現Ⅱ） 身体表現／保育・言葉掛けプランニングシート（2年〇組△番氏名： ） 2011/5/7：改訂

時刻	環境	教材	音響	照明	言葉掛け プラン (主な保育 の流れ)	指示 説明	非日常 表現の切掛	抑揚	運動分析 (事前に)	リズム	動きの深化 動きの変化／ 身体支配	ストップM	発想の転換 他には？？ どうなるの？
	①保育者 ／位置 ※保育者と 幼児の位置 関係定型に ならないよ うに配慮す る。 (扇形等) ②保育室 ／使用法 ※環境構成 への配慮	絵本等 BGMや ピアノ等			保育の流れに そって、具体 的な言葉掛け を考える。	断定的 にならないよ うに。 ※命令 口調に ならないよ うに 配慮 する。	321 それ！ 魔法現実 世界から 表現世界 へ気持ち 切り替 えるの 言葉	表情 豊かに 雰囲気 に合わ て、声 の大小 や表情 に配慮 する。	題材から直接、イメ ージで できる 運動を例) 象： ＜動き＞ 鼻を動かす：揺らす・ 曲げる・耳を動かす 歩く（どっしり）・ 座る ＜場面＞ 餌を拾う（鼻で） 水をまく・体にかける ＜空想的場面＞ 戦う・飛ぶ・ くリズム ノツシ・ノツシ。パオ ～	例) ふわ～ふわ ～ふわ～ (3回目に単調 にならないよ うに、気を付け る。注意) 規則的のリズ ムだけにな らないよう にする。	きたポーズや 形の方向や場 所を変える ところと与える。 垂直方向を注 意！ 木立状態(直 立)を崩す。 足を動かす。 力を加える。 引っ張る等。	好きなお花に とま～へれ！ 動いてばかりで なく、ときどき止 めることにより、 リズムやフレーズ 感が明確になる。 また、他の幼児は どんなことをして いるかの学び合 いにもなる。	先生からの指示 だけでなく、子 どもから引き出 す。「どうする の？どうなっ た？どうなっ ていくと思う 等？他には？ ・・・」等

主要参考文献：(参照：井上勝子他：感性を育む身体表現遊び／宮原和子・英種：応答的保育入門／マリオンゴフ：ダンスの教え方・学び方（旧ラバンセンタース所属）VTR：表現研究シリーズ＜人間発達と表現＞幼児の身体表現 0歳から6歳まで)

従来の保育案と異なり、身体表現や保育の実態に合わせた書式であることや学生自身が模擬保育体験を重ねることにより PS の有効性を自覚できたものと思われる。



2)「質問②どの欄が役に立ったか」に関する回答に関して、3回分の結果を示している。

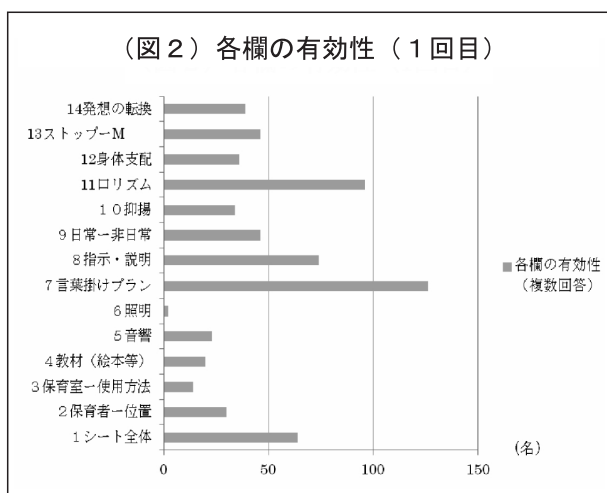


図2に示すように、1回目の回答では、[1：シート全体 2：保育者→位置 3：保育室の使用法 4：教材 5：音響 6：照明]といったシートの左側については、あまり有効性を認識をしていないが、右側の欄 [7：言葉掛けプラン 9：指示・説明 10：ロリズム]の項目の有効性が挙げられている。

図3のように、2回目以降は、1回目と同様

に [1：シート全体 7：言葉掛けプラン 9：指示・説明 12ロリズム] が有効な項目として挙げられている。また、身体支配をさらに工夫・発展させた項目 [13：動きの変化] も挙がってきている。

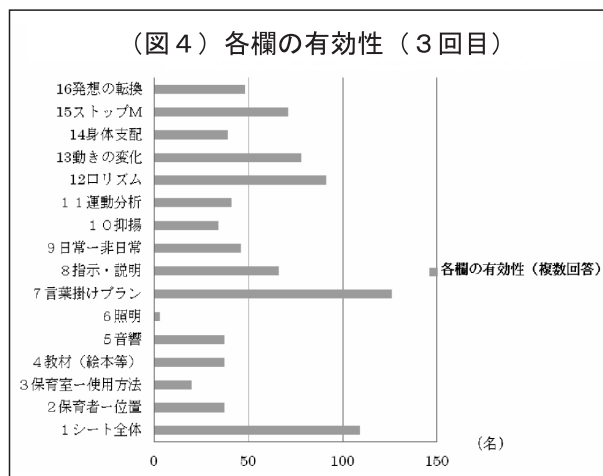
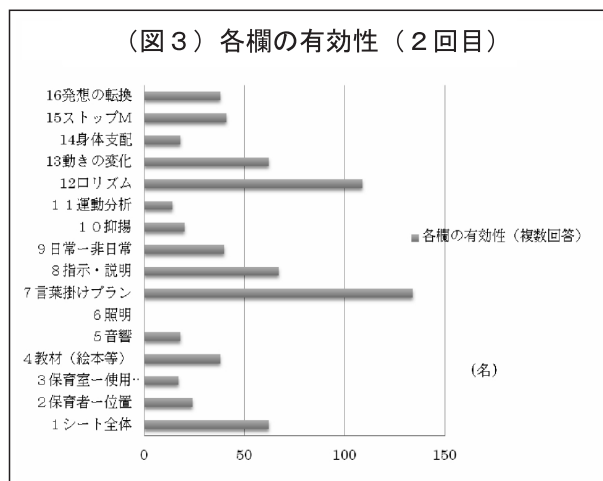


図4に示すように、3回目では、1：シート全体の有効性を挙げる学生が倍になっている。また、後半部分は2回目までであがっていた [7：言葉掛けプラン 9：指示・説明 10：ロリズム]に加え、[15：ストップモーション (以下M) 16：発想の転換]が多くなってきている。

このことは、PSで事前に題材となる動きのイメージや具体的な保育場面を想定して企画する観点を提起しており、担当保育の実践で確認することとなり、その有効度を実感できたものと考えられる。また、前述のように身体表現に

特化した書式であり、回を重ねる毎に、運動分析的視点や発想の転換を促す言葉かけ等も取り入れ、より主体的な発想を活かした運動的にも豊かな表現を引き出すことができるようになることを、学生自身が認識してくると考えられる。シートの有効性の認識は、体験を積み重ねると上昇しているといえよう。役に立った項目としては、1～3回を通し「言葉かけプラン」と「ロリズム」が特に評価されており、3回目になると、「シート全体」が役にたったという学生が増え授業回数を重ねるごとに、より具体的保育場面を想定した観点にシフトしているといえよう。

このように、指導が困難とされる身体表現において、PSを作成することにより、事前に「題材のイメージ」を想起し、指導を支える豊かな視点を活用して実践に応用することによって、指導力の向上につながることを示唆された。

(表1) PSが担当保育の企画や実践をする上で役に立った理由(自由記述)

1	事前に計画していたため流れにそってスムーズに実践できた。	254
2	自分の言葉かけが分かり、実践や子供たちとのコミュニケーションに役立った(と思う)。	41
3	通常の指導案よりも詳細に書くようになっていたので、深く考えるのに役立った(と思う)。大切なポイントを意識させるのに役立った。	53
4	イメージを持って活動の様子を考えることができた。	43
5	例があるので考えやすかった。	15
6	動きや自分の不足している部分を見直しできた。	15
7	言葉かけの大切さを学べた。	11
8	焦らず、自信や余裕をもって実践できた。	10

9	多少計画と異なったが、臨機応変に言葉かけできた。	10
10	いろいろな人の実践をみることができた。	2
11	子供のイメージが拡大し、楽しめると思う。	4
12	話し合いがしやすかった。	1
13	空間の使用方法や位置の使い方を知る事が出来た。	1
14	様々な発想があり、意外な展開がありおもしろかった。	4
15	起承転結を考えやすかった。	4
16	書いた方が覚えやすい。	4
17	実習に役立った。(役立つ)	6
18	子供達の動きを考えやすかったが。	1
19	担当以外の人に動きも把握できた。	1
20	まとめやすかった。	1
21	考える力がついた。	1
22	新しい発見があった。	1

3) 質問①保育・言葉掛けプランニングシート(以下PS)は担当保育の企画や実践をする上で役に立ったかについて、表1に示した自由記述では、事前に身体表現に特化した観点での保育案/言葉掛けを準備していたため、進行がスムーズに進んだことが明らかであり、有効性は高いと思われる。また、写真④や実際のPSシート実践例⑩⑪に示すように、模擬授業の初担当(前期開始後3回目の授業)で、表2や指導案の講評に示すように課題は残しつつも、豊かな動きを引き出す指導が実践できている。表現が得意な学生だけでなくむしろ表現を苦手とするような学生や現場の指導者に有効と思われる。

※指導案中の四角で囲んだ内容は筆者の指導内容である。

(表2) 実践上の問題点

質問①	記 述 内 容	回 答 数		
		1回	2回	3回
1	計画通りできなかった.	4	2	
2	アドリブが多かった.	1	1	
3	実践しやすかったが、自分たちが時間をかけなかった.	1		
4	使い方がわからない.	1	5	
5	役に立たない所もあった.	1		
6	どんな流れで計画をたてればよいかわからなかった.	1		
7	ただ、当てはめるだけだとワンパターンになるので考えて使いたい.	1		
8	非日常への転換は、「魔法のこぼ」しか使えないのかと思った.	1		
9	もっと考えたらよかった.			1

<質問③その他必要な欄>

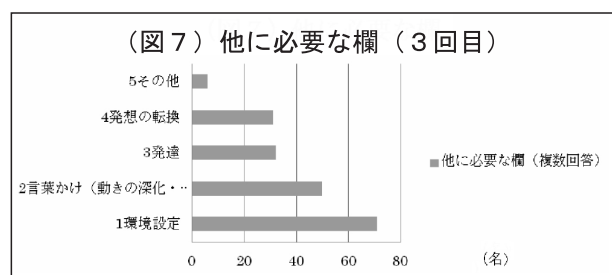
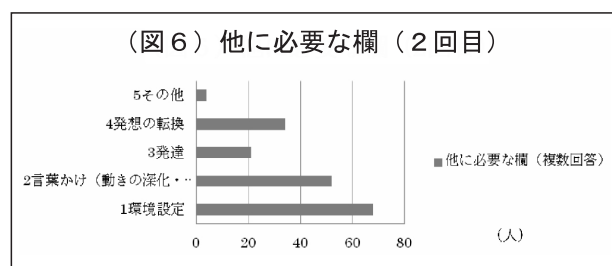
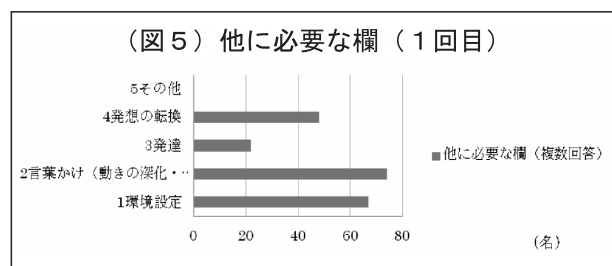


図5・6・7及び表3に示すように、項目に関する改訂すべき点としては、「環境設定」「言葉掛け」を比較的多くの学生が選択していたことから、それらの項目の充実や記入欄の大きさ等指摘された点について今後改善して行く必要がある。

4) まとめ

以上のように、指導が困難とされる身体表現において、PSを作成することにより、事前に「題材のイメージ」を想起し、指導を支える豊かな視点を活用して実践に応用することによって、指導力の向上につながることを示唆された。

改訂すべき点としては、項目の充実や記入欄の大きさ等指摘された点について今後改善していきたい。

このようなPSシートを養成校や保育現場で活用してもらい、身体表現の指導力向上の一助としたい。

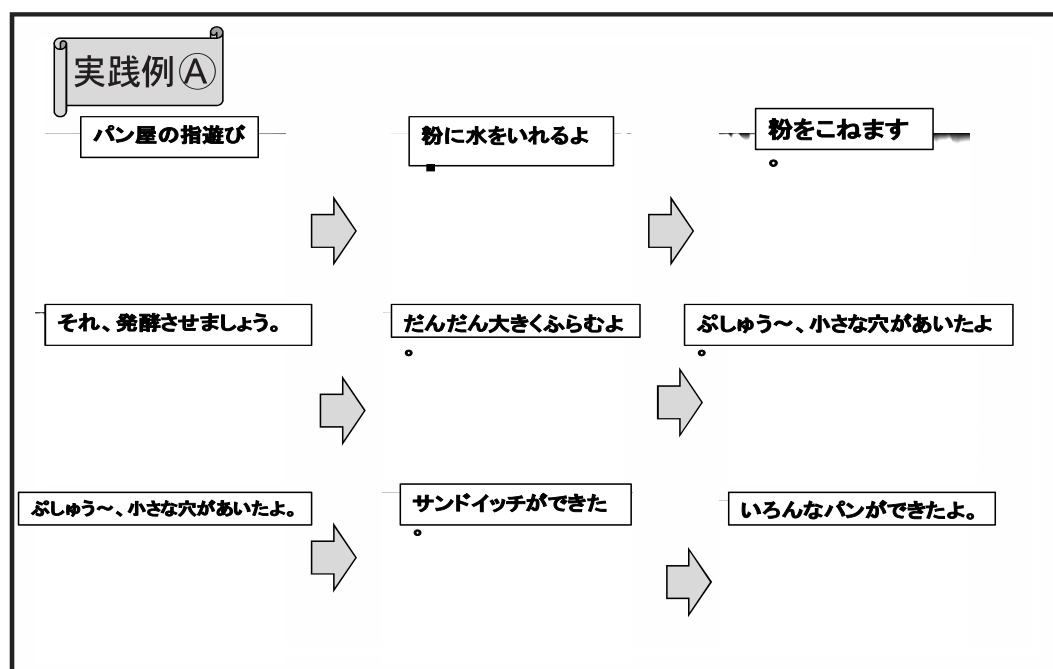
(表3) その他気づいた点

質問④	記 述 内 容	回 答 数		
		1回	2回	3回
1	欄が小さい	18	11	24
2	環境・発想の転換・抑揚等の記載が難しい.	5		7
3	保育者の動き・気を付ける点を書く欄が必要.	1		
4	子どもの目線で考えるのは難しい.	1		
5	表現力の理解が難しい.	1		2
6	欄が多すぎて書きづらい.			1
7	動きの欄が難しかった.			1
8	記入が難しかった.			1
9	予想される幼児の姿の欄があったら良かった.			1
10	一つ一つの欄の解説をもっと詳しく.			1



<引用・参考文献>

- 1) 青木理子：「第4章 子どもの身体表現を引き出す環境」井上勝子・小川鮎子・小松恵理子・宮嶋郁恵他 著『新訂 豊かな感性を育む身体表現遊び』p.33-39 (株)ぎょうせい 2011
- 2) 青木理子・井上勝子・小川鮎子・小松恵理子・宮嶋郁恵他：「保育現場における動きによる表現の現状と課題—平成10年度調査との比較— 九州体育・スポーツ学会発表抄録 2006
- 3) 青山優子：『学生の「表現遊び」の指導力を高めるための授業研究—実習後の振り返りより有効性を探る—』第42回全国女子体育研究大会紀要 p.40-43 2008
- 4) 小川鮎子・青木理子・小松恵理子・宮嶋郁恵：『「ウサギ」を題材とした身体表現を引き出す手立て—その3 養成校学生を対象に—』日本保育学会第62回論文集 p.130 2009
- 5) 小松恵理子・青木理子・小川鮎子・宮嶋郁恵：『「ウサギ」を題材とした身体表現を引き出す手立て—その2 養成校学生を対象に—』日本保育学会第61回論文集 p.661 2008
- 6) 小松恵理子・宮嶋郁恵・小川鮎子・青木理子：『VTR 視聴後の身体表現の画像分析的検討—ウサギを題材として—』日本保育学会第63回論文集 p.635 2010
- 7) 下釜綾子・高原和子・瀧信子：「うさぎを題材にした身体表現を引き出す手立て その1 —4・5才児を対象に—」日本保育学会第61回論文集 p.660 2008
- 8) 鈴木裕子：「幼児の身体表現におけるイメージと動きの相互作用—題材と言葉がけの違いの観点から—」名古屋柳城短期大学紀要 第21号 p.157-170 1999
- 9) 宮嶋郁恵・青木理子・小松恵理子・下釜綾子・高原和子・瀧信子：「豊かな身体表現活動を引き出す素材の有効性について」日本保育学会第60回論文集 p.1162-1163 2007
- 10) MARION / GOUGH) : 「In touch with dance」 Whitethorn Books 1993
- 11) 宮原和子・宮原英種編著：「保育者と母親のための応答的保育入門」p.47 p.51-52 1991
- 12) VTR：表現研究シリーズ<人間発達と表現>幼児の身体表現0歳から6歳まで)

(2012年12月7日 受理)



実践例⑧

保育内容 (表現Ⅱ) 身体表現/保育・言葉掛けプランニングシート 平成24年4月25日 (水) 児童教育学科2年5組11番A ホーム氏名：(M・O) <<指遊びから表現へ：「ぐーちょきぱー」を使って>> (2011/10/5; 改訂)													
時刻	環境	教材	教 材	音 響	照 明	指示 説明	抑揚	運動分析 (事前)	リズム	動きの変化/身体支配	ストップM	発想の転換	
		絵本				保育の流れにそって、具体的な言葉掛けを考える。	表情豊かに	題材から直接、イメージで見る運動	例) ふわふわふへふへ〜へ〜 (3回目注目)	できたポーズや形の方向や場所を変えるのヒントをあげる。垂直方向を注意！ 意！木立状態 (直立) を崩す。足を動かす。力を加える。引っ張る等。	好きなお花にとま〜へれ！	他には？？ どうなるの？	
						・5組のお友達おはようございます。 ・みんなは、「グーチョキパー」の指遊び知っているかなー？ ・今日はみんなで「グーチョキパー」の指遊びをしたり、体を使って (なりして) たくさん遊んでみよう。 <<「グーチョキパー」>> ・まずは、先生が指遊びをするから見せてね。 ・次はみんなやってみよう。 ・右手のグーは何で、左手のチョキは何かわかったかな？ ・<<体をつかって>> ・じゃあ次は、体を動かしてやってみよう。みんな友達とぶつからないように応がりますよう。 ・みんなも先生のマネしながらやってみようね、歌も一緒に歌ってね。(右手がパーで左手もパー) ・みんなおぼけになってみよう。 ・いなくなつてよかつたね。 ・次はおぼけのままグーチョキパーをしてみよう。 ・みんなカタツムリになってみよう。 <<自分のなりたいたいものに変身>> ・みんな上手にできたね。次は、自分のなりたいたいものになりきってみよう。じゃあいくよ。 ・変身してみよう。 ・みんな人間に戻ろう。 <<2人組で>> ・次は近くの友達と2人組になろう。2人組ができたお友達は雇いましょう。 ・次は、2人で「グーチョキパー」をやってみよう。 ・じゃあ、次は2人でするから、右のお友達はグーで左のお友達はパーでいうふうにするので、先生の声をよく聞いてね。 ・みんなおいしそうなおにぎりになれたね。 ・先生、たべちゃおう。 ・ムシャムシャ、 あーおいしかった。 <<自分たちのなりたいたいものへ変身>> ・はい！じゃあ、次は2人でなりたいたいものになるので、何になりたいか、2人で決めてみよう。 ・決まったかー。じゃあやってみよう。 ・じゃあいくよ。 ・変身してみよう。 ・みんなできたかなー？ (こどもたちとやりとり)		基本の遊び  ・おぼけ：手を動かす。歩く。 ・場面：おぼけの歌歩 ・リズム：ヒューヘン ・カタツムリ：ゆっくり動く。 ・リズム：ノノノ 角を出す。 ・リズム：ノノノ ↓かたつむりー	ヒュルルル〜 ・「グーチョキパー」の指遊びでカタツムリを作る。 ・頭の上に手で角を作っておそべつたりしながら動く。 ・寝そべって動いていたのを起き上がり、戻ったりする。 ・歌って自分のなりたいたいものになりきる。		・「グーチョキパー」の指遊びでにおにぎりを作る。 ・右のお友達がグーで、左のお友達がグーでしやがんでにおにぎりなり、左のお友達がパーで、左のお友達がパーでにおにぎり役の友達の上にかぶさる。	・「グーチョキパー」の指遊びでにおにぎりを作る。 ・右のお友達がグーで、左のお友達がグーでしやがんでにおにぎりなり、左のお友達がパーで、左のお友達がパーでにおにぎり役の友達の上にかぶさる。	・歌って2人になりたいものなる。

<p>スカーフ</p> <p>⑩</p> <p>○:オカズ</p>	<p>・きれいに包めるかな??</p> <p>・できた? 完成</p> <p><卵焼き></p> <p>・次は(卵焼き)を作りましょう。</p> <p>・混ぜるよ。</p> <p>・フライパンに油を敷いて... 卵入れるよー。</p> <p>・煮くよー。</p> <p>・完成。</p> <p><肉巻></p> <p>・次は唐揚げを作るよ。</p> <p>・鶏肉を切ってー</p> <p>・調味料も入れるよ。</p> <p>・もみこんで。</p> <p>・油をあたためていれるよ。</p> <p>・良い色になっだねー。揚げよう。</p> <p>・火も通っていい感じ!! 完成。</p> <p><野菜></p> <p>・次は野菜だよ。</p> <p>・水で洗うよ。(トマト・きゅうり)</p> <p>・まな板に移して切るよー。</p> <p><果物></p> <p>・最後に果物だよ。</p> <p>・お水で洗って、へたを取って。</p> <p><<お弁当に飾る>></p> <p>・準備OK!! 詰めるよー。</p> <p>・おにぎりさん。</p> <p>・卵焼きさん。</p> <p>・からあげさん。</p> <p>・野菜さん。</p> <p>・果物さん。</p> <p>・おおおいそう! 上手にできたね。</p> <p><<食べる>></p> <p>・それでは、みんな食べてみよう。!!</p> <p>お弁当の歌</p> <p>・いただきます。</p> <p>・みんなおいしい?</p> <p>・手を合わせてください。ごちそうさまでした。</p> <p>・みんなお集りの位置に戻って、並びましょう。</p>	<p>トントントン</p> <p>卵焼き</p> <p>・卵を切る。</p> <p>・肉を切る。</p> <p>・油を切る。</p> <p>・野菜を洗う。</p> <p>・野菜を切る。</p> <p>・いつも、規則的なリズムにならないように変化をつける。</p> <p>・お弁当に具を詰める。</p> <p>・むしやむしや</p> <p>・もぐもぐ</p> <p>・お弁当を食べる。</p>	<p>・パリッパリッ</p> <p>・カシャカシャ</p> <p>・ジャバジャバー</p> <p>・ぐつぐつがぶがぶ</p> <p>・くるくるー</p> <p>・トントントン</p> <p>・トントントン</p> <p>・サッサッ</p> <p>・ギョッギョッギョッ</p> <p>・ジュワー</p> <p>・パチパチパチ</p> <p>・ジャバジャバジャバ</p> <p>・トントントン</p> <p>ジャバジャバブチ</p> <p>(よい例)</p>	<p>・ぐるぐる回る。</p> <p>・手でぐつぐつと表現する。</p> <p>・転がる。</p> <p>・体をくねくね動かす。</p> <p>・体を縮める。・体を伸ばしたり縮めたりする。</p> <p>・跳ねる。</p> <p>・野菜</p> <p>・体を揺らす。</p> <p>・段々小さくなくてゆく。</p> <p>・体を揺らす。</p> <p>グループ毎に並ぶ。</p> <p>おべんとうばこ</p>	<p>からあげ1</p> <p>・切るよ。</p> <p>↑からあげ2・3↓</p> <p>調味料をいれるよー。</p> <p>いちご</p>	
-----------------------------------	---	---	---	--	---	--